

平成29年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立松梅中学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。これは、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、改善を図ることが目的です。学校においては、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることやこれらの取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善を確立することを目的としているものです。

結果を基に、本校生徒の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

■ 調査期日

平成29年4月18日(火)

■ 調査の対象学年

中学校3年生

■ 調査の内容

(1) 教科に関する調査

主として「知識」に関する問題 〔国語A、数学A〕	主として「活用」に関する問題 〔国語B、数学B〕
<ul style="list-style-type: none">身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など	<ul style="list-style-type: none">知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容

(2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況、児童生徒の体力・運動能力の全体的な状況等に関する調査

■ 調査結果及び考察について

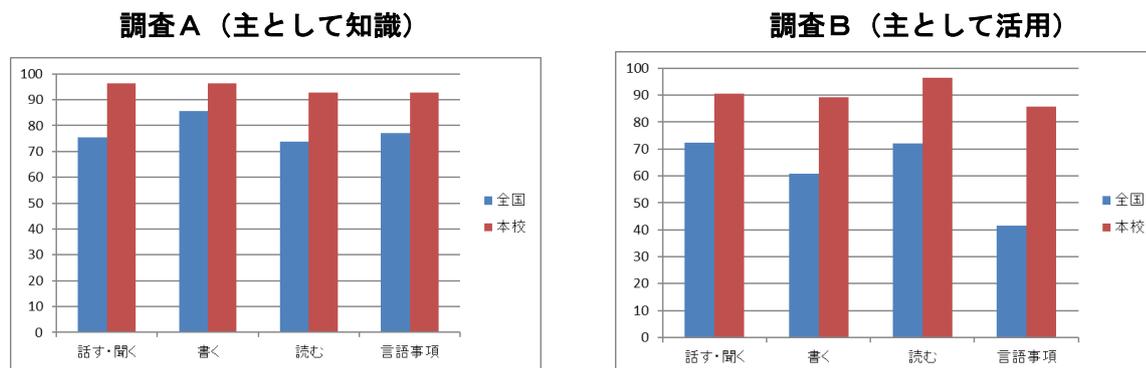
全国学力学習状況調査は中学3年生（小学6年生）と限られた学年が対象であり、教科は国語と数学（算数）に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野（問題）です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の一側面」であることをご理解の上、ご覧ください。

■調査結果及び考察

1 国語

(1) 結果

全国正答率との比較



すべての領域において全国平均を上回っている。記述式の問題にも無回答が全くなく、問題に対してあきらめることなく取り組んでいる。国語への関心・意欲・態度を問う問題での正答率が全国平均と比べると高く、感じたことや考えたことを書いたり、理由を書いたりする力がついている。

(2) 成果と課題

話すこと・聞くこと

・スピーチの構成を考えたり、より分かりやすく伝えるための工夫をしたりすることができている。これからも、ペアやグループでの話し合い活動を授業の中で積極的に取り入れたり、場面に応じたスピーチを行ったりして、話す・聞く力を更につけていきたい。

書くこと

・必要な情報を集めるための見通しを持つことに課題がみられたので、書いたものを互いに読み合い、評価し合うことで、他にどんな情報があれば内容がより相手に伝わるかを考えさせたい。また、「ステップ作文」などの継続的な書く活動によって表現力をつけさせたい。

読むこと

・登場人物の言動の意味を考え、内容を理解するなど多くの項目で正答率が100%だった。多様な情報に触れながら発想を得る力、幅広い読書によって主体的に考え、視野を広げる力を今後も育成していきたい。

言語事項

・文脈に即して漢字を正しく書いたり、読んだりする問いでは、6問すべてで正答率100%だった。毎日の漢字の書き取りの宿題の成果が表れている。今後も、継続して取り組んでいきたい。

(3) 学力向上のための取り組み

【ご家庭では】

- 社会の出来事などについて機会を見つけて話題にしてみてください。会話の中から考える力や伝える力が育まれます。また、読書は視野を広げます。家族ぐるみで読書に親しんでください。
- 漢字の書き取りの宿題は毎日出していますので、時々目を通してください。正しく丁寧に書けているときは「しっかり書けているね」と励ましの言葉かけをお願いします。

【学校では】

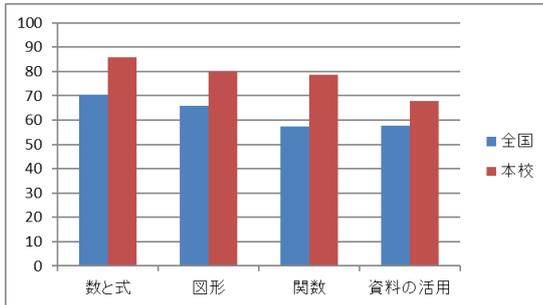
- 授業の中で言語活動を充実させ、自分の思いや考えを豊かに表現する力を培います。
- 発表したり意見交換したりする場面を多く設定し、コミュニケーション能力の育成を目指します。

2 数学

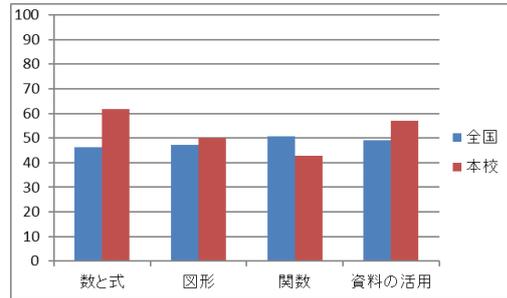
(1) 結果

全国正答率との比較

調査A（主として知識）



調査B（主として活用）



ほとんどの領域で全国平均を大幅に上回っているが、活用力を問う B 問題の関数の領域のみ全国平均に達していない。問題形式ごとの正答率をしてみると、B 問題の記述式の問題が低く、数学的な表現を使って筋道立てて説明することができていない傾向が見られた。

(2) 成果と課題

数と式

・計算問題については、正答率が高かった。繰り返し練習をすることで、正確さとスピードを身に付け、生徒の自信につながるよう継続させたい。

図形

・公式を利用して、平面図形の面積を求めたり、立体図形の体積を求めたりする問いでは正答率が高かった。しかし、2つの図形の関係を回転移動に着目して捉え、数学的な表現を用いて説明する問いでは正確に記述できた者はいなかった。なので、授業中の学び合い学習を通して、要点を押さえて簡潔に説明する力を身に付けさせたい。

関数

・A 問題では全国平均に対し本校平均は高い数値を出しているが、B 問題では全国平均に達していない。関数の基本的なことは理解できているが生活場面での事象を数学的に解釈し、問題解決することができていないので、実験などを通して生活場面に存在する関数関係ととらえられる事象を考察し、思考力・判断力・表現力を高めさせたい。

資料の活用

・全体的に正答率が高かった。しかし、範囲などの用語の意味を理解できておらず、正しく解答できていなかった。なので、階級と階級値など間違いやすい用語について何度も繰り返し、説明していくことで定着を図りたい。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 授業では、基礎的・基本的な内容の理解を深めます。
- 授業では、「一人学び」、「学び合い」の時間を設定し、応用力を伸ばしていきます。
- 生徒に昼休みや放課後に補充学習を行い、個々の生徒のつまずきに対応します。
- 定期的に宿題を出し、基礎力の定着を図ります。

【ご家庭では】

- たくさんの励ましや、賞賛の言葉をかけてあげてください。

3 生活習慣や学習習慣に関する調査

(1) 結果

調査の項目	本校%	全国平均%
毎日、同じくらいの時刻に起きている	100%	88.4%
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	85.7%	75.7%
学校の規則を守っている	100%	95.2%
将来の夢や目標を持っている	57.1%	72.5%
人の役に立つ人間になりたい	85.7%	92.2%
人が困っているときは、進んで助けている	100%	83.8%
自分には、良いところがあると思う	28.6%	70.7%
平日にゲームを1時間以上する	14.3%	59.0%

起床時刻、就寝時間ともにほぼ決まっており規則正しい生活を送ることができていることから、基本的な生活習慣は身につけている。

進路に対する意識として、「将来の夢や目標を持っている」や「人の役に立つ人間になりたい」などの項目で意識が低い原因として、「自分には良いところがあると思う」の項目で、とても低い結果になっている点に関係していると思われる。小集団の為、多くの人に認められるような経験が少ないことが原因の一つと考えられる。行事などを通して、自主性・自発性を育むことで、自分の良さに気づき自己肯定感を持てるよう支援していきたい。

平日のテレビゲームについては、全国平均に比べて1時間以上している割合が低いので、継続していけるよう保護者と連携を取りながら、家庭での過ごし方を考えていきたい。

調査の項目	本校%	全国平均%
平日2時間以上勉強している	28.6%	35.4%
平日1～2時間勉強している	42.9%	34.2%
平日0～1時間勉強している	28.6%	25.5%
休日1時間勉強している	57.1%	41.8%
家で予習をしている	28.6%	31.7%
自分で計画を立てて勉強している	57.1%	50.6%

平日に2時間以上勉強している生徒がいる一方で、宿題のみしかしていない生徒がいるので、家庭学習の仕方を具体的に指導するなどして、苦手教科の克服や得意教科を更に伸ばしていけるよう支援していきたい。

(2) 改善に向けての取り組み

【学校では】

- 全教科の授業で、めあてを提示して、学び合いを取り入れながら主体的な学習ができるように努めています。日々、各教科の宿題だけでなく、自主学习ノートの提出も義務づけて自主的な学習をするように促します。
- キャリア学習に重点を置き、将来の目標に向かって主体的な学習ができるように努めていきます。

【ご家庭では】

- 基本的な生活習慣はできており決められた内容を学習する習慣は身につけていますが、復習や予習の時間が不足している面が見受けられます。時間を決めて自ら計画した家庭学習ができるようにご指導ください。また、テレビゲームやインターネット利用については、家庭で約束を決め、長時間にならないようにご指導ください。
- 将来の夢や希望を見据えて、中学校卒業後の見通しや職業についてお子さんと対話をもつと学習への意欲が高まると思います。